

第2回学位プログラム検討部会における主な意見

【メイカーズ学科(仮称)構想について】

- 産業界からの要望をいえば、とにかく人材が地元に着着できるようなカリキュラムにしていきたい。
- メイカーズという発想が本当にワクワクするような気がしている。創造的な発想でものを解決するのが、今の政策を含めた企業の現場で必要だと思う。やはり、ものづくり的な発想で課題を解決するのが必要なのかなと思う。
- 県内の企業の大半が小規模だったり零細だったりするが、DXや生産性の向上がなかなか進まない、人も採れないという形の中で、どういう方が必要ですかと話したときに「一番必要なのは孝行息子みたいな人です」と。あまり難しいことを言わないで、課題を解決する時に、既存のアプリや簡単なプログラミングで課題を解決して、一気に中小零細企業の生産性を向上させてくれるような、そんな子がいればデジタル化も進むし、企業の生産性も進む、そういった人材が育つようなフィールドがあればいいなと思う。

【メイカーズ学科(仮称)の名称について】

- おそらく「メイカーズ」と聞いてわかる人はほとんどいない。ネーミングも含め、学生が獲得できて、なおかつ、地域に人材が定着できるといういい流れをぜひ作っていただきたい。
- メイカーズ学科というのは、どうしても今一つイメージができなくて、女性を取り込む、理系へどんどん取り込んでいくということであれば、名前も含めて女性にも分かりやすいような形で広報していただければ、興味を持つ方も増えるのかなと思う。
- 私も今日初めてメイカーズの意味を理解したが、普通の人にはメイカーとメーカーを区別していない。普通に考えると製造業のイメージで、コテコテの工学を連想すると思う。メイカーって、人のことだ、ということは話を聞いてわかった。高校生や一般の方にも分かるようなネーミングは大事だと思う。
- 「ものづくり」という言葉と「メイカー」という言葉と「ものづくりがわかった人」という言い方が出てきて、少し混乱すると思った。資料の中に「ものづくり産業からメイカー産業」と書いてあるが、言葉の使い方と、一方で「ものづくり」という言葉も出てくるので、コンセプト・定義をしっかりと作らないと、高校生にはますますわからないかなという印象がある。

【メイカーズFabについて】

- メイカーズFabはすごく大事だと感じた。卒業生が、一人で、ある企業に行って現場変革をするのはなかなか難しいだろうなと感じるので、こういう何かハブになるような、常に交流しているような現場があってこそ、企業の中で現場変革に機能する人になるのかなという印象を受けた。
- 確かに時代とともに求められる人材というのは間違いなく変わってきていると思う。特に、このFabは、令和7年度にファナックのロボも入れる予定があるという中で、先行してでも発足させればこの先の目玉にもなって、もうやっているということも見えるのではないか。こういう場があれば、必ず新たな創造の場というのは絶対出てきて、色々な意見も出てくる。
- 観光産業についても、基本的には求められるスキルは分野を問わず一緒だと思うが、観光産業に卒業生が就職しないのでは教育しているとも言えないが、メイカーズFabのようなところで観光産業の人たちとの交流を持つとか、一緒にやっていく中で、企業側がぜひ欲しいとか、学生さんがこの企業にぜひ行きたいとか、そういう繋がりができることが大事なのかなと思う。

【観光人材の育成について】

- メイカーズ学科という新しい学科ができることによって、観光人材の育成がなくなってしまうたら困ると思っていたが、残りそうなのでよかった。今年度、観光部門に就職された方がいなかった、という話もあったが、是非、県内の観光産業にも就職していただける方が出てくるような取組もしていただければありがたい。